



# 進路だより

第1号 R2.6.2

宇都宮市立陽南中学校 進路指導部

新年度早々に休業となり、不安な毎日だったと思います。特に1年生の皆さんは、「友達はあるだろうか」「学校の授業はどんな風にすすむのか」など、楽しみ半分・心配半分でしょうね。少しずつ中学校の生活リズムに慣れていきましょう。そして2・3年生の皆さん、新しい学級はいかがですか？これから自分の力を十分に発揮してさまざまな場面で活躍することを期待しています。

さて中学校の3年間は、自分の可能性を見出し最大限に伸ばす時期であり、一人ひとりが進路希望を実現させるためのとても大切な時期です。それぞれが自分の目標をもって自分の長所を更に伸ばしていけるよう、実りある1年にしていきましょう。

この進路だよりでは、進路に関する情報の提供や、将来の人生設計などについて生徒の皆さんと保護者の皆さんがご家庭で話し合える資料となるように発行していきたいと思っています。



☆「キャリア教育とは、生徒ひとりひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な能力を育てる教育です。」

中学校では、学級活動の時間に「進路についての学習」があります。生徒自身が自分を見つめ、夢や希望をもって将来を描き、よりよい人生を自ら切り拓いていくための学習です。さらに、教科や道徳、総合的な学習の時間、学校行事などを相互に関連させながら学校教育全体で「キャリア教育」が進められています。かつては「進路」というと「〇〇高校に入学できるか」「△△会社に入社できるか」などということばかりに目を向けてしまう傾向が見られました。しかし、変化の著しい現代を生き抜くためには、身に付けるべき力をもっと広い視野でとらえていく必要があります。

自分の進路について考える第一歩は、自分自身をしっかりと分析して理解することです。「将来の夢は何なのか」「好きなことは何なのか」「自分は何に向いているのか」など、自分を知ることが最も大切なことといえるでしょう。自分の将来の姿を思い描きながら進路選択につなげられるよう、自分探しを進めていきましょう。



## 【本校のキャリア教育目標】

- ・将来の夢や目標をもって自らの進路を切り開くことができる生徒を育てる。

	テーマ	ねらい
1年	自分の夢を見つけよう (進路探索の開始)	様々な職業や仕事の内容などについて理解し、これからの自分の生き方について考え、夢や目標の実現に向け努力する態度を養う。
2年	正しい職業観を身に付けよう (進路計画の吟味)	社会の一員としての自覚を促し、目標とすべき将来の生き方や進路を考え、実現に向け努力する態度を養う。
3年	適性を考え進路を選択しよう (主体的な進路選択)	目標とする生き方や進路を考え、主体的に進路を決定し、実現に向け努力する態度を養う。

# 「夢を抱いてやりぬく宮っ子の育成を目指して」

～「宮・未来キャリア・パスポート」が導入されます！～



「キャリア・パスポート」は、今年度4月よりすべての小学校・中学校・高等学校で導入されます。これは、児童・生徒が小学校から高等学校までの12年間のキャリア教育に関するさまざまな活動

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| (例)・年度初めに学習や生活の見通しを立てること | ・年度の間や学年末に振り返ること、 |
| ・将来の生き方に係る学習             | ・学校行事等            |

などについて、学級活動や総合的な学習の時間を中心として「自分の取り組み状況や学習状況を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオ（ファイルに蓄積したもの）」です。宇都宮市ではA4版ポケットファイルを共通に使用し、小学校➡中学校➡高等学校へと引き継いでいきます。教師や保護者の方からのコメント欄を設け、対話的にかかわることにより生徒の成長を促し、系統的指導に役立てます。ご家庭のご協力をお願いいたします。

## 保護者の皆さんへ

## 宇都宮市教育委員会

本市では、義務教育9年間を通した系統的なカリキュラムや地域の教育力を生かした体験活動の実施などにより、社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を育て、望ましい勤労観・職業観の形成を目指す「宮・未来キャリア教育」を推進しております。この「宮・未来キャリア・パスポート」を通して、児童生徒は、学校・家庭及び地域社会において学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行います。肯定的に自己を理解し、自己有用感を抱くとともに、様々な人との関わりを通して、主体的に進路を選択することができるようになるため、お子様の努力を認め励まし、「保護者から」の欄に温かい言葉かけをお願いいたします。

## 《中学生活でさらに伸ばしてほしい4つの力（基礎的・汎用的能力）》

### 【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

《例》

他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど

### 【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

《例》

自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など

### 【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力

《例》

情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など

### 【キャリアプランニング能力】

「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

《例》

学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など